

雨合羽は？長靴は？一判りません！

こんな無責任な出向命令があるか！

籠原 34 名、高崎 12 名、新前橋 12 名計 58 名の出向対象者に 9 月 12 日から事前通知がなされました。

J R と T T S が合同で開いた説明会に参加された誰もが啞然、「こんな無責任な出向があっているのか？」と思ったことでしょう。

動労連帯が参加した説明会では、T T S の「新入社員のみなさんへ」という会社概要パンフレットの説明ばかりです。俺たちは「新入社員」なのか？ 10 月 1 日は入社式でもやってくれるのか？「具体的労働条件を説明して下さい」というと「判りません」「後で答えます」という返答ばかり。あまりにも出たらめです。

制服の採寸をしながら（といっても S、M、L、LL だ）…

- 「制服の数は？」－2 枚です。「え？2 枚でどうやって回すの？」－答えられません（！）
- 「じゃあ雨合羽は？」－判りません（！）
- 「長靴は？」－ありません。「ええ？どうすんだよ！」
- 「10 月 1 日はどこに出勤したらいいんだ？」－後で説明します。こんなことばかりの説明会です。あまりにも無責任、でたらめだ！

仕事を何だと思ってるんだ！かりにも人の命をあずかる輸送業だぞ！俺たちを何だと思っているんだ！牛馬と同じ扱いか？！雨合羽なしに仕事しろというのか？

こんな無責任な出向命令を出す会社も会社だが、妥結したという組合も組合ではないか。組合は一体何を解明要求してきたんだ！例えば東労組高崎地本堀口委員長は「本部に 3000 項目集約されていた解明要求が 21 項目に削られた」と 9・5 交渉報告集会で発言している。解明要求もろくにしないで妥結した結果がこれではないか！

籠原相談会にも東労組の監視の影！

9 月 20 日に動労連帯が開催した「出向反対相談会」には 7 名の相談者が見えました。しかし、14 日の新前橋相談会と同じく、東労組の役員ではないかと思われる不審な男 2 人が駐車場で徘徊。近づいていくと車で逃げだすという事件がありました。こんなことに労力を費やすよりも、やるべき解明をやって、労働条件が保障できない出向には最後まで反対するべきではないのか？

9 月 25 日
No102

国鉄高崎動力車連帯労働組合

(連絡先：srkc.jp@yahoo.co.jp 048-722-7107 fax 共)